

Shibaura Machine

View the Future with You

株主の皆様へ

第102期中間報告書

(2024年4月1日から2024年9月30日まで)

芝浦機械株式会社

証券コード：6104

株主の皆様へ



取締役社長
坂元 繁友

株主の皆様には、平素よりご高配を賜り、心よりお礼申し上げます。
ここに、株主の皆様へ（第102期中間報告書）をお届けするにあたりまして、ひと言ごあいさつ申し上げます。

<当第2四半期（中間期）の状況と業績>

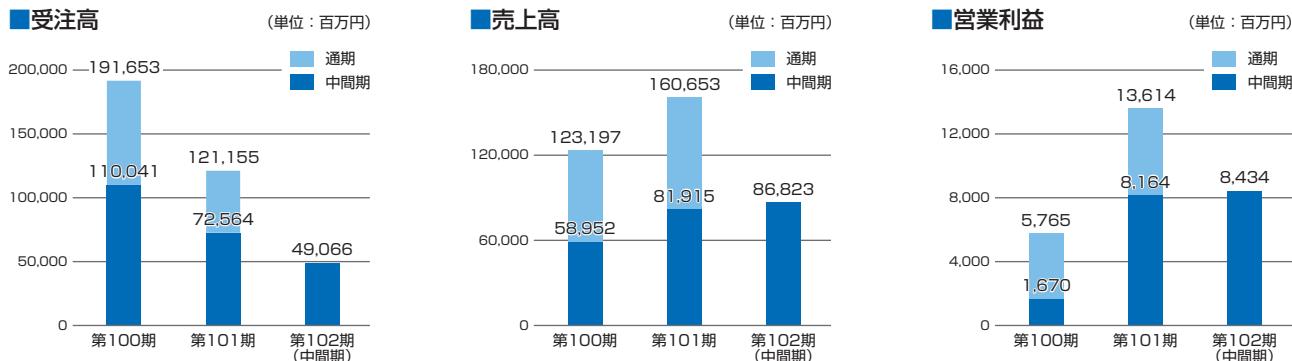
当中間連結会計期間における世界経済は、緩やかな回復基調で推移していますが、中国の景気低迷の長期化、ロシアによるウクライナ侵攻や中東情勢の緊迫化など先行き不透明な状況が継続いたしました。わが国経済は、欧米の高金利水準の継続や中国の景気低迷などによる景気の下押し圧力、物価上昇等により一部足踏みも見られましたが、設備投資に持ち直しの動きがありました。

当社グループを取り巻く経済環境は、インド経済の堅調な成長はあるものの、EV市場の減速、中国の景気低迷、部材・エネルギー価格の高止まり、米国大統領選挙を控え設備投資が一部停滞するなど厳しい状況で推移いたしました。

このような経済環境のもとで、当社グループは中期経営計画「中計2026」（2024年度～2026年度）で掲げている事業ポートフォリオの組み替え、顧客の生産性向上に寄与するシステムエンジニアリング装置販売・直販への軸足シフト、事業ポートフォリオ組み替えにリンクした人材戦略、ESG経営の推進等の基本方針に基づき、脱炭素社会、EV、再生可能エネルギー、労働生産性向上などに関連した商品の開発と提供、DX戦略の推進などの諸施策を遂行しております。

当中間連結会計期間の受注高は射出成形機や超精密加工機が国内、中国において増加したものの、押出成形機の中国におけるリチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置の減少により、490億6千6百万円（前年同期比32.4%減、海外比率46.0%）となりました。売上高は中国におけるリチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置の増加により、868億2千3百万円（前年同期比6.0%増、海外比率80.7%）となりました。損益については、

<業績ハイライト>



営業利益は規模増加などによる増益効果により、84億3千4百万円（前年同期比3.3%増）、経常利益は為替変動の影響を受け、80億3百万円（前年同期比11.4%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期に計上した固定資産売却益などの反動減により、85億9千8百万円（前年同期比40.1%減）となりました。

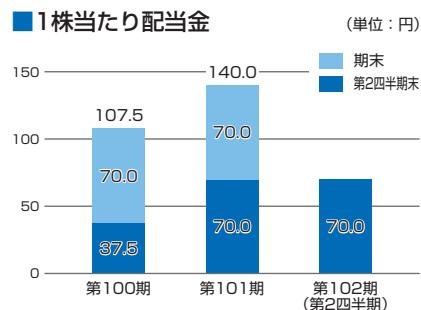
<連結業績予想などの将来予測情報に関する説明>

中間連結会計期間における業績の進捗等を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、2024年5月13日公表の通期連結業績予想を修正いたしました。詳細は、2024年11月12日に公表いたしました「2025年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想値と実績値の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

<配当について>

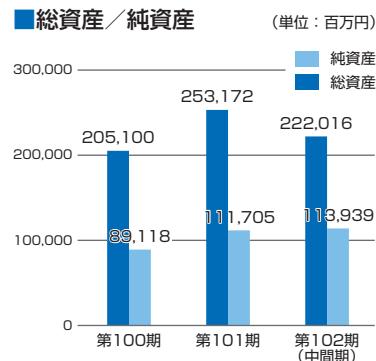
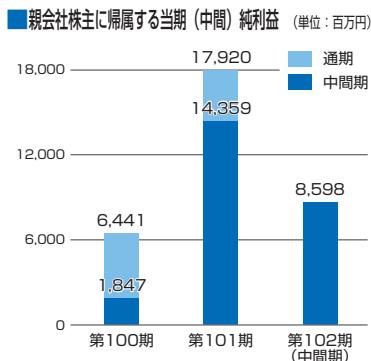
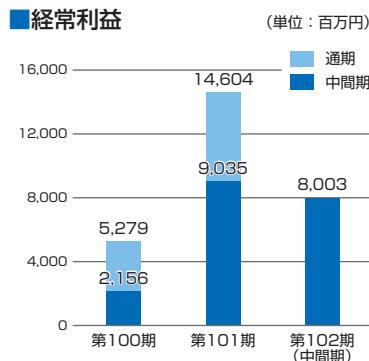
当社は、収益性の向上に向けて経営体質の強化を図りながら、安定配当を維持し、業績に応じた利益配分をしていくことを基本方針としております。利益剰余金につきましては、企業の継続的発展のため将来の事業展開等を戦略的に判断し、人的資本の強化や生産設備、技術開発、海外展開等に有効に投資していくとともに、継続して株主の皆様への適正な利益還元を実施してまいります。

当第2四半期末配当につきましては、1株当たり70.0円とさせていただきます。



株主の皆様におかれましては、何卒いっそうのご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年12月



事業別の概況

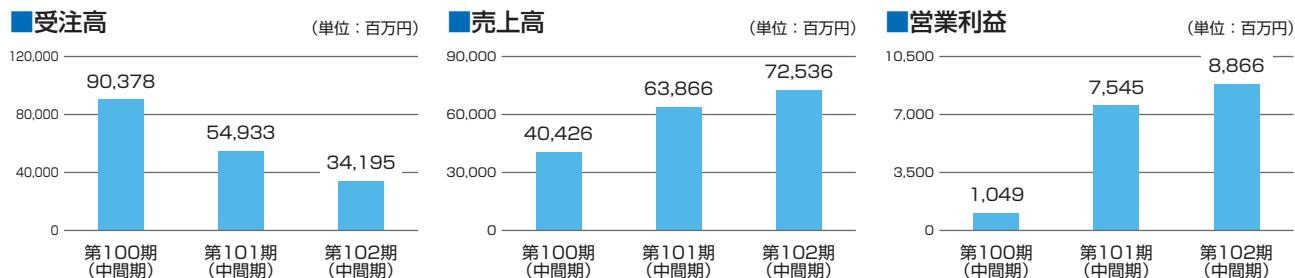
成形機事業【射出成形機、ダイカストマシン、押出成形機など】

射出成形機においては、販売は国内、中国で増加したものの、北米、東南アジアで減少いたしました。受注は国内における自動車向け、中国で増加いたしました。

ダイカストマシンにおいては、自動車向けが、販売は微減、受注はインドで増加したものの、国内、中国、東南アジアで減少いたしました。

押出成形機においては、販売は中国におけるリチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置が大幅に増加、受注は国内における光学向けが増加したものの、EV需要の伸びの鈍化などの影響により中国でリチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置が大幅に減少となりました。

この結果、成形機事業全体の受注高は341億9千5百万円（前年同期比37.8%減、海外比率54.4%）、売上高は725億3千6百万円（前年同期比13.6%増、海外比率89.3%）、営業利益は88億6千6百万円（前年同期比17.5%増）となりました。

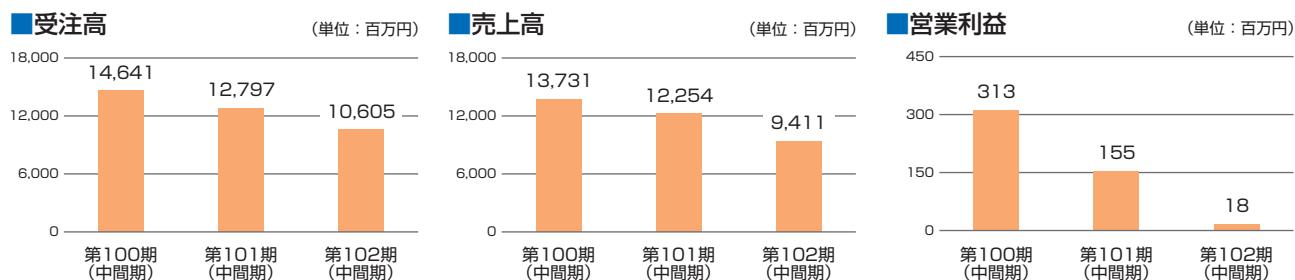


工作機械事業【工作機械（大型機、門形機、横中ぐり盤、立旋盤など）、超精密加工機など】

工作機械においては、販売は国内、北米で減少いたしました。受注は北米におけるエネルギー関連向けなど及び中国における景気低迷の影響により減少いたしました。

超精密加工機においては、販売は中国において減少、受注は国内における光学レンズ向け、半導体製造装置向け、医療向けが増加いたしました。

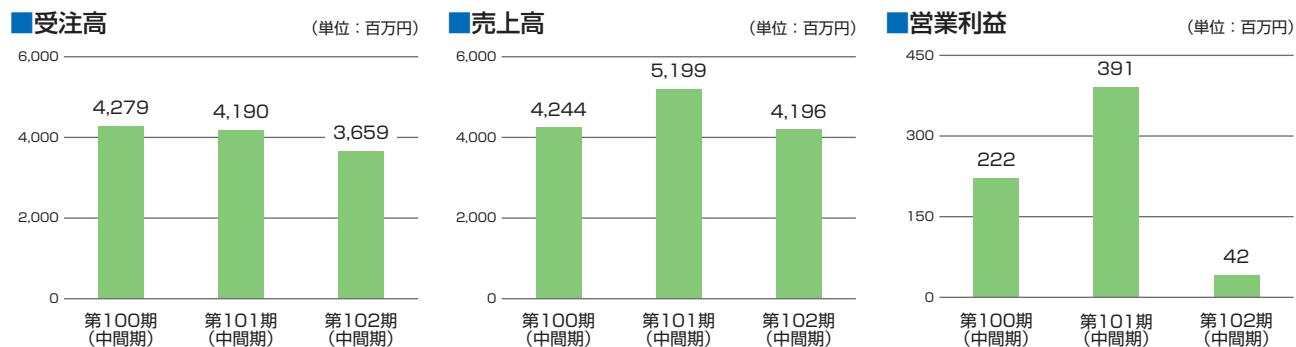
この結果、工作機械事業全体の受注高は106億5百万円（前年同期比17.1%減、海外比率34.4%）、売上高は94億1千1百万円（前年同期比23.2%減、海外比率52.3%）、営業利益は1千8百万円（前年同期比87.9%減）となりました。



制御機械事業 [産業用ロボット、電子制御装置など]

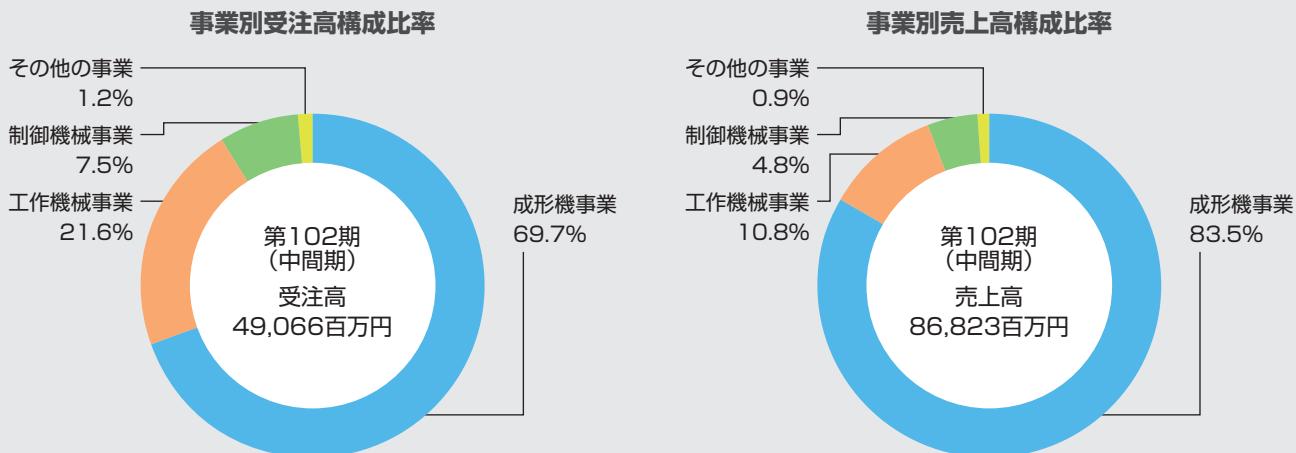
制御機械においては、販売と受注は国内における電子制御装置が減少いたしました。

この結果、制御機械事業全体の受注高は36億5千9百万円（前年同期比12.7%減、海外比率8.5%）、売上高は41億9千6百万円（前年同期比19.3%減、海外比率7.8%）、営業利益は4千2百万円（前年同期比89.0%減）となりました。



その他の事業

その他の事業全体の受注高は6億6百万円（前年同期比5.6%減、海外比率3.8%）、売上高は6億7千8百万円（前年同期比14.0%増、海外比率0.5%）、営業損失は4億5千4百万円（前年同期は営業利益5千6百万円）となりました。



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	第102期中間期 (2024年9月30日現在)	第101期 (2024年3月31日現在)	科目	第102期中間期 (2024年9月30日現在)	第101期 (2024年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	175,385	203,059	流動負債	98,140	130,329
現金及び預金	41,727	51,669	支払手形及び買掛金	21,561	31,016
受取手形、売掛金及び契約資産	24,660	30,354	短期借入金	10,605	11,030
有価証券	16,000	—	リース債務	212	247
商品及び製品	51,924	69,097	未払法人税等	3,606	4,134
仕掛品	32,102	33,283	未払費用	2,353	3,310
原材料及び貯蔵品	39	42	契約負債	55,093	75,070
その他の流動資産	8,977	18,662	賞与引当金	2,777	2,725
貸倒引当金	△ 45	△ 51	製品保証引当金	786	877
固定資産	46,630	50,113	その他の流動負債	1,143	1,917
有形固定資産	33,257	33,522	固定負債	9,935	11,137
建物及び構築物	18,512	19,144	リース債務	475	526
機械装置及び運搬具	3,005	3,349	長期未払金	—	5
土地	6,716	6,852	繰延税金負債	2,466	3,574
リース資産	647	728	役員退職慰労引当金	20	27
建設仮勘定	3,536	2,566	退職給付に係る負債	6,566	6,610
その他の有形固定資産	839	881	資産除去債務	393	393
無形固定資産	1,081	1,219	その他の固定負債	14	—
のれん	405	463	負債合計	108,076	141,466
その他の無形固定資産	675	755	純資産の部		
投資その他の資産	12,291	15,370	株主資本	100,268	95,286
投資有価証券	10,672	13,752	資本金	12,484	12,484
出資金	241	241	資本剰余金	11,553	11,538
長期貸付金	3	3	利益剰余金	81,561	79,140
繰延税金資産	604	584	自己株式	△ 5,331	△ 7,877
その他の投資	1,297	1,321	その他の包括利益累計額	13,670	16,419
貸倒引当金	△ 526	△ 532	その他有価証券評価差額金	5,973	8,123
			為替換算調整勘定	6,003	6,672
			退職給付に係る調整累計額	1,693	1,623
資産合計	222,016	253,172	純資産合計	113,939	111,705
			負債・純資産合計	222,016	253,172

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	第102期中間期	第101期中間期
	(2024年4月1日から 2024年9月30日まで)	(2023年4月1日から 2023年9月30日まで)
売上高	86,823	81,915
売上原価	58,233	55,494
売上総利益	28,590	26,421
販売費及び一般管理費	20,155	18,256
営業利益	8,434	8,164
営業外収益	568	1,149
営業外費用	999	278
経常利益	8,003	9,035
特別利益	4,051	10,857
特別損失	199	10
税金等調整前中間純利益	11,854	19,882
法人税、住民税及び事業税	3,496	2,610
法人税等調整額	△ 240	2,912
中間純利益	8,598	14,359
親会社株主に帰属する中間純利益	8,598	14,359

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	第102期中間期	第101期中間期
	(2024年4月1日から 2024年9月30日まで)	(2023年4月1日から 2023年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,088	△ 60
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,609	△ 1,088
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,240	△ 4,499
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 427	1,613
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,030	△ 4,035
現金及び現金同等物の期首残高	51,588	50,855
現金及び現金同等物の中間期末残高	57,619	46,819

連結財務諸表のポイント

資産

当中間連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ311億5千6百万円減少し、2,220億1千6百万円となりました。減少の主な内訳は、商品及び製品が171億7千3百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が56億9千4百万円減少したこと等によります。

負債

負債は、前連結会計年度末に比べ333億9千万円減少し、1,080億7千6百万円となりました。減少の主な内訳は、契約負債が199億7千7百万円、支払手形及び買掛金が94億5千4百万円減少したこと等によります。

純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ22億3千4百万円増加し、1,139億3千9百万円となりました。増加の主な内訳は、利益剰余金が24億2千1百万円増加したこと等によります。

この結果、当中間連結会計期間末の自己資本比率は51.3%となりました。

キャッシュ・フロー計算書

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前中間連結会計期間末に比べ107億9千9百万円増加し、576億1千9百万円となりました。

なお、当中間連結会計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、80億8千8百万円の増加になりました(前中間連結会計期間は6千万円の減少)。これは主として、契約負債の減少による支出200億3千8百万円があったものの、棚卸資産の減少による収入が183億5千7百万円、税金等調整前中間純利益の増加による収入118億5千4百万円等があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、26億9百万円の増加になりました(前中間連結会計期間は10億8千8百万円の減少)。これは主として、有形固定資産の売却による収入42億8千5百万円等があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、42億4千万円の減少になりました(前中間連結会計期間は44億9千9百万円の減少)。これは主として、自己株式の取得による支出20億円、配当金の支払額16億9千1百万円等があったことによります。

■ 芝浦機械初のTVCM放送



1938年（昭和13年）に創業して以来、初のTVCMとなる本作は、当社が日本を代表する企業としての誇りを持ち、多くの社員が「モノづくりを通じて社会に貢献する」という使命を背負って日々開発に臨んでいることを、より多くの皆様に知っていただきたいという思いで制作いたしました。

本CMのイメージキャラクターとして俳優の阿部寛さんを起用させていただき、俳優の中島歩さんとの共演にて、当社の一般的に知られていない製品の「わかりにくさ」をあえて武器として捉え、「まだこの世界にないモノを、つくるマシーンを、つくる。」というフレーズを、インパクトのあるスローガンとして発信しています。



TVCM「ALWAYS 芝浦マシーン その1」篇より

※本TVCM、メイキング映像等は当社HP内の「CM特設サイト」をご覧ください。

<https://www.shibaaura-machine.co.jp/cm/>



■ 射出成形機等拡販に向けインドに第2工場開設 - 生産能力を3倍に -

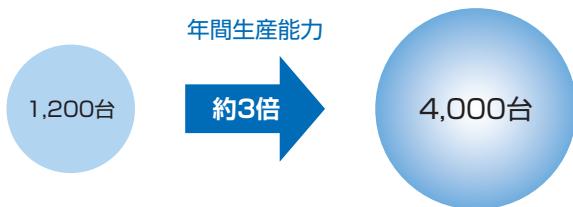
「インド第2工場」開設

経済成長が著しく、世界最多の人口を抱えるインドにおいて、自動車、IT、医療分野を中心とした射出成形機の設備投資需要増加への対応や、インド市場及びその周辺諸国への販売拡大を目的に、当社の海外関係会社（SHIBAURA MACHINE INDIA PRIVATE LIMITED）の現工場の隣接地に約40億円の投資を行い、2024年7月に第2工場を開設いたしました。

既存工場と合わせ射出成形機が生産能力が年間1,200台から年間4,000台と約3倍に拡大します。第2工場は超大型の射出成形機に加え、芝浦機械グループの他の製品も生産可能となるシンプルでフレキシブルな工場です。



インド第2工場：面積は約16,000㎡で芝浦機械グループ最大級の工場



射出成形機

当社の射出成形機は、自動車、家具家電、医療器具、生活雑貨、玩具、筆記用具など、人々の生活基盤を支える様々な産業で活躍し、北米、中東、東・西アフリカ、アセアン地域を中心とした全世界45か国以上の国や地域でご使用いただいている製品です。

第2工場開設によってインド国内外での販売・サービス体制を更に強化するとともに、第2工場に併設したテクニカルセンターを通じて、お客様に当社の最新技術を提供してまいりたいと考えております。

詳細につきましては2024年7月12日に当社HPに掲載しております「射出成形機等拡販に向けインドに第2工場開設 - 生産能力を3倍に -」をご覧ください。

<https://www.shibaura-machine.co.jp/jp/NEWS/press/20240712.html>



グローバルネットワーク (2024年9月30日現在)

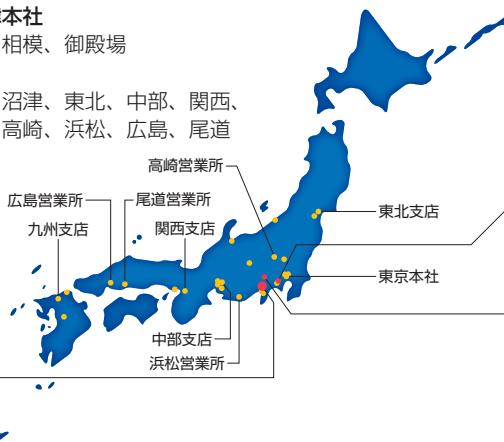


本社
製造拠点
販売・サービス拠点

● 東京本社、● 沼津本社
● 工場 沼津、相模、御殿場
● 27拠点
(主な拠点) 東京、沼津、東北、中部、関西、九州、高崎、浜松、広島、尾道



沼津本社
沼津工場



相模工場



御殿場工場



製造拠点
販売・サービス拠点

● 工場 中国、インド、タイ
● 44拠点
東アジア 9拠点
東南アジア 28拠点 (インド22拠点含む)
北米・中南米 6拠点
欧州 1拠点

中国工場
SHIBAURA MACHINE
(SHANGHAI) CO., LTD.



インド工場
SHIBAURA MACHINE
INDIA PRIVATE LIMITED



タイ工場
SHIBAURA MACHINE MANUFACTURING
(THAILAND) CO., LTD.



会社の概況／株式の状況 (2024年9月30日現在)

会社の概況

- (1) 所在地
東京都千代田区内幸町二丁目2番2号
- (2) 創業
1938年(昭和13年)12月
- (3) 設立
1949年(昭和24年)3月
- (4) 資本金
124億8千4百万円
- (5) 従業員数
連結：3,028名(前期末比29名減)
単独：1,586名(前期末比77名減)
- (6) 役員(2024年12月1日現在)
- | | |
|--------------|------|
| 代表取締役社長 | 坂元繁友 |
| 社長執行役員 | |
| 最高経営責任者 | |
| 最高執行責任者 | |
| 代表取締役役員 | 大田浩昭 |
| 専務執行役員 | |
| 最高財務責任者 | |
| 取締役役員 | 小池純 |
| 専務執行役員 | |
| 取締役役員 | 甲斐義章 |
| 常務執行役員 | |
| 社外取締役役員 | 佐藤潔 |
| 社外取締役役員 | 岩崎清悟 |
| 社外取締役役員 | 寺脇一峰 |
| 社外取締役役員 | 早川知佐 |
| 社外取締役役員 | 板垣絵里 |
| 取締役(常勤監査等委員) | 高橋宏 |
| 社外取締役(監査等委員) | 今村昭文 |
| 社外取締役(監査等委員) | 荻茂生 |

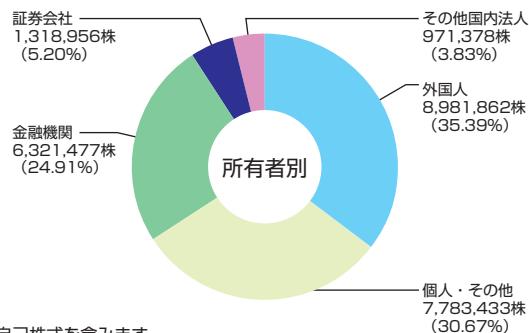
株式の状況

- (1) 発行可能株式総数 72,000,000株
- (2) 発行済株式の総数 25,377,106株
(自己株式1,745,980株を含む)
- (3) 株主数 15,856名
(前期末比5,367名減)
- (4) 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,178千株	13.45%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,047	4.43
野村証券株式会社	596	2.52
株式会社静岡銀行	596	2.52
芝浦機械従業員持株会	544	2.31
BNYM AS AGT/CLTS NON TREATY JASDEC	528	2.24
BNP PARIBAS LONDON BRANCH FOR PRIME BROKERAGE CLEARANCE ACC FOR THIRD PARTY	514	2.18
THE NOMURA TRUST AND BANKING CO., LTD. AS THE TRUSTEE OF REPURCHASE AGREEMENT MOTHER FUND	480	2.03
芝浦機械取引先持株会	473	2.00
野村証券株式会社自己振替口	450	1.90

- (注) 1. 当社は、自己株式を1,745,980株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
3. 当社は、取締役会決議に基づき、下記のとおり自己株式の取得・消却をしております。
- ・2024年5月14日～2024年9月9日 取得 556,700株
 - ・2024年5月28日 消却 1,600,000株
 - ・2024年10月15日 消却 556,700株

(5) 株式の分布状況



(注) 自己株式を含みます。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

基準日 定時株主総会については3月31日
その他必要があるときは、あらかじめ公告
して定める日

期末配当基準日 毎年3月31日

中間配当基準日 毎年9月30日

公告方法 電子公告 <https://www.shibaura-machine.co.jp>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を
することができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店
及び全国各支店で行っております。

- ・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設さ
れました株主様は、特別口座の口座管理機関である
三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社
にお申出ください。

芝浦機械株式会社ホームページ
<https://www.shibaura-machine.co.jp>



株主の皆様の
声をお聞かせください

コエキク

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスキー入力後に表示される
アンケートサイトにて
ご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー XXXXXXXXXX



ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社アロネックスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 ☒ koekiku@pronexus.co.jp